校長あいさつ

横浜市立市場中学校　校長　藤宮　学

横浜市立市場中学校は１９４７年・昭和２２年に創立し、市中（いっちゅう）として多くの人々に愛される、歴史と伝統のある横浜を代表する公立中学校です。これからも地域と、そして横浜とともに学び、歩んでまいります。

市場中学校の学校目標には「寛容で、たくましく、自ら未来を切り拓く人を育てる」とあります。未来を作るために必要な力を身に着けるためには、自分だけでなく、仲間や地域、社会とのつながりを大切にして学習する。学習とは英語や数学といった教科の学習だけでなく、学級活動や道徳、総合、行事や部活動その全てが学習であり学びだということ。そしてやる以上は粘り強く挑戦し続けることが大切だということをこの学校目標は示していると私は考えます。ところで公立中学校である市場中では、なぜ勉強・学習活動をするのでしょうか…。答えは小学校から始まった義務教育の総仕上げである中学校生活３年間が終わったときに「自立」をするために中学校の学習・学びがあると思います。「自立」とは中学校を卒業し、社会のために働くにしても、進学をしたとしても、自分で考え、自分で判断し行動する。もちろん自分で責任もとるということです。生徒が活躍する未来はこれまでに予想もつかなかったことが起きるかもしれません。解決が難しいことにもたくさん出会うでしょう。そんな時、「今自分がこうしてあるのは、あのとき市中で過ごした３年間があるからだ」「市中で泣いて笑って、いっぱい体験して身につけたことがあるからこそ今、がんばれる」そう言って挑戦し続けられるよう、生徒の学びを支援してまいります。中学校を卒業すれば成人ではありませんが、いわば社会人です。卒業後の社会人生活を見据えて送り出すのが中学校教職員の役割です。中学校３年間では結果が出ないこともあるかもしれません、しかし、未来に花咲かせてほしいという卒業後を視野に入れた教育活動も少なくないことをご理解いただき、ご支援やご相談をいただきたいと思います。

現代社会は時に明確な正解がわからないことが多くなってきました。そんな時、自分以外の人たちと聴き合い、語り合い、粘り強く合意形成を目指す資質能力こそこれからの時代に必要不可欠な力です。市場中では多様な子どもたちの特性や地域の実情等を踏まえ、人と人とのふれあいを大切にしながら、１人１台端末（PC）も活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」「対話型・アウトプット型の学び」の具体化にチャレンジしてまいります。

市中卒業後に社会人としてたくましく社会を、自らの人生を、切り拓いていける資質能力を学校教育活動のあらゆる場面を通して身につけられるように教職員一丸となって全力で取り組んでまいります。とはいえ、中学時代の３年間は生徒たちが心身ともに大きく成長する時であり、同時に様々な困難や悩みが訪れる時期でもあります。それぞれの支援に向けては、私たち教職員と保護者の方々・地域の方々が目標を共有して、力を合わせていくことが重要です。どうか、ご理解とご協力をお願いいたします。